

# 施策評価調書（主要施策別）

様式 1

基本目標	地震等の非常時に強い水道	整理番号	3 - (5)
主要施策	危機管理体制の強化	施策主務課	計画課
施策の趣旨	地震や事故等によって水道施設が被災した場合に、断水等のお客様への影響を、短時間かつ最小限にすることができるよう、職員等の活動体制の充実・強化を図るとともに、給水区域内11市との連携強化に努めます。		

## I 施策を達成するための主な取組と達成状況

	応急活動体制の強化・拡充	担当課	計画課
	<p>(取組の概要)</p> <p>地震等の非常時における応急活動体制の更なる強化のため、東日本大震災による大規模な断水等の被災経験等を活かして応急活動体制を再点検し、その結果を踏まえた改善強化に取り組むとともに、必要な応急用資機材等について備蓄を増強します。</p> <p>また、水道事業に関する経験と知識を持った職員OBをボランティアとして登録し、給水区域内で震度6弱以上の地震が発生した場合に、住民への応急給水等の支援活動に協力を求める「災害時支援協力員制度」により、協働して訓練を実施していくなど、応急活動体制の拡充を図ります。</p> <p>(当年度の取組概要)</p> <p>職員一人ひとりの行動基準を一層明確化し、必要な応急用資機材等について備蓄を増強するとともに、少人数体制化していくなかで、応急給水拠点における近隣住民への給水活動を支援する当局OBのボランティアによる「災害時支援協力員制度」を本格的に活動開始します。</p> <p>当初予算額 10,048千円、決算(見込)額 15,984千円</p>		
取組①	達成指標	ア) 訓練の実施回数(総合訓練、テーマ型訓練) イ) 危機管理用備品及び資機材の備蓄数	内部評価
	達成目標	ア) 総合訓練：5回 テーマ型訓練：84回 協力員訓練：1回 イ) 非常用飲料水袋備蓄数：76,000枚	a : 達成している b : 概ね達成している
	達成実績	ア) 総合訓練：3回 テーマ型訓練：91回 協力員訓練：1回 イ) 非常用飲料水袋備蓄数：73,000枚	c : 未達成だが進展している d : 進展していない
	(評価結果の説明・分析)		前年度評価
		<p>・水道局震災対策基本計画に基づき、職員一人ひとりの役割と行動を明確化するために作成中の、震災対策行動基準に反映させるため、東日本大震災の対応における検証を行い問題点を整理しました、また、総合訓練については、東日本大震災の影響で九都県市合同防災訓練(千葉県会場)と事故対策図上訓練が中止となりました。テーマ型訓練では応急給水訓練・情報伝達訓練などを、災害時支援協力員の訓練では、応急給水訓練を実施しました。</p> <p>・非常用飲料水袋備蓄数に関しては、震災後さらに各市が主催する防災訓練での使用枚数が増加したことなどにより、整備備蓄数には至りませんでした。</p>	

	緊急時における初期活動体制の強化		担当課	計画課	
取組	(取組の概要) 地震等はもとより、水道に影響を及ぼすおそれのあるあらゆる非常事態に適切に対応するためには、初期活動の迅速さが求められることから、実践的な研修や訓練を徹底するとともに、緊急時体制の見直しを検討するなど、夜間・休日を含めた緊急時初期活動体制の強化を図ります。				
	(当年度の取組概要) 震災等緊急時に迅速かつ的確に動けるよう、必要と考えられる実践的な総合訓練等を実施し危機管理体制の強化を図ります。 併せて、事故対応に係わる部署の業務を集約するとともに、職場内研修により緊急時の対応力を維持し機動性を確保するなど事故等の初動対応を迅速かつ的確に行うため、夜間、休日を含めた緊急時初期活動体制の強化について検討します。				
	当初予算額 0千円 、 決算（見込）額 0千円				
	②	達成指標	緊急時の初動体制の強化状況	内部評価	
	達成目標	24時間初動対応部署：新たな緊急体制案の複数選定と比較検討 情報伝達訓練：2回		a：達成している b：概ね達成している c：未達成だが進展している d：進展していない	
達成実績	24時間初動対応部署：新たな緊急体制案を検討中 情報伝達訓練：2回				
	(評価結果の説明・分析) ・夜間・休日の対応は水道センターに委託していますが、現場の状況により局職員の動員が必要となります、現在施設管理課職員に連絡する体制となっており、緊急を要する場合は、当該事務所の近くに居住する職員等へ連絡するなど別の連絡体制を検討中です。 ・情報伝達訓練を2回実施し、緊急時における初期活動体制の強化を図りました。			前年度評価	—

	給水区域内11市との連携強化		担当課	計画課	
取組	(取組の概要) 地震等の非常時において、災害対策基本法や地域防災計画等に基づいて関係市が行う応急活動を支援し、避難所や病院などの施設を中心に住民等への飲料水の配布、生活用水の供給などの応急給水活動を迅速かつ適切に行います。 東日本大震災では、県営水道給水区域11市のうち9市において管路の漏水が発生し、一部地域では大規模な断水が続いたため、関係市と連携を密にして長期間の応急給水活動を展開したところです。今後は、こうした被災経験から得られた貴重な教訓を活かし、非常時における迅速な活動をより高いレベルで確保できるよう、11市との協議や意見交換等の場を通じて相互の役割分担等の一層の明確化を図るなど、更なる連携強化に努めます。				
	(当年度の取組概要) 地震等の非常事態が発生した場合、関係市が行う応急活動を支援し、避難所や病院などの施設を中心とした住民等への応急給水活動を迅速かつ適切に行います。 また、この対応を確実なものとするため、各市との合同訓練を実施します。				
	当初予算額 0千円 、 決算（見込）額 0千円				
	③	達成指標	合同訓練の実施回数	内部評価	
	達成目標	訓練：11回		a：達成している b：概ね達成している c：未達成だが進展している d：進展していない	
達成実績	訓練：8回（東日本大震災の影響により3市にて合同訓練が中止となったため）				

<p>(評価結果の説明・分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給水区域内11市との合同訓練に参加する目標に対し、東日本大震災からの復旧・復興中である3市で合同訓練が中止となったため、年8回の実施となりました。</li> <li>東日本大震災の対応をふまえ給水区域内11市との応急給水等に関する確認事項を取り交わし、役割分担を明確化しました。</li> </ul>		
	前年度評価	—

## II 施策の成果

成果指標	<p>危機管理体制の強化</p> <p>①訓練における非常時職員参集管理システム応答率（1時間以内）</p> <p>②事故時における職員の現場到着時間（夜間、休日）</p>	内部評価	
成果目標	<p>① 75（%）</p> <p>② 2時間30分</p>	<p>a：成果が出ている</p> <p>b：概ね成果が出ている</p> <p>c：成果が小さい</p> <p>d：成果が出ていない</p>	
成果実績	<p>① 75（%）</p> <p>② 2時間</p>		
<p>(評価結果の説明・分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訓練における非常時職員参集管理システム応答率（1時間以内）は、訓練を行うことにより応答率のアップを図りました。</li> <li>事故時における職員の現場到着時間（夜間、休日）については、到着まで時間を要したケースもありましたが、平均時間では2時間となり目標より短い時間で到着することができました。</li> </ul>		前年度評価	—

## III 達成状況及び成果を踏まえた今後の進め方（施策の方向性）

<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組の進め方 <ul style="list-style-type: none"> <li>取組① 応急活動体制の強化・拡充 (継続：東日本大震災の対応における改善策を取りまとめます。)</li> <li>取組② 緊急時における初期活動体制の強化 (継続：訓練内容の充実を図り、初期活動体制の強化を目指します。)</li> <li>取組③ 給水区域内11市との連携強化 (継続：会議開催、訓練により11市との連携強化を図ります。)</li> </ul> </li> <li>施策の方向性 24年度は、訓練の充実を図るとともに、東日本大震災の対応における改善策を取りまとめ、職員一人ひとりの役割と行動を明確化するために作成中の震災対策行動基準に反映させながら危機管理体制の強化を図るため、施策は継続します。</li> </ul>		内部評価	
		<p>a：継続</p> <p>b：一部見直して継続</p> <p>c：休止・廃止</p>	
		前年度評価	—

<p>内部評価機関 (政策調整会議)に おける評価</p>	<p>(総合的な意見等)</p> <p>自己評価を妥当と認める</p>
	<p>(特記事項)</p> <p>なし</p>